

農大 NOW

令和6年度版

令和7年3月13日発行

大分県立農業大学校

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-1

TEL:0974-22-7581・7582 FAX:0974-22-6387

E-mail: a15230@pref.oita.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.oita.jp/site/140/>



Instagram



YouTube



学校HP



令和7年度学生募集ポスター撮影風景



農大祭にて (令和6年11月9日開催)



大分県農林水産祭「みのりフェスタ」に出店



親睦ソフトボール大会 (学生対職員)

育心
～ 実り豊かな「農」と「人」～

農にはばたく ~熱い思いと希望を胸に~

初心を忘れず

江藤 義聴 (総合農産科 水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス)

私の実家は大葉と水稻を栽培しています。実家で就農する際に栽培するための知識が必要になると思い、農業大学校に入学しました。商業科高校出身だったため、農業の経験が無く、講義や実習は分からない事ばかりでした。覚えることが多く聞き逃さないようにメモを取りながら取り組みました。友人や先生にアドバイスを聞き、少しずつできることも増えていき、身に付いてきました。

プロジェクト研究では米ぬかを用いた水稻栽培を行い、循環型農業について学びました。今回の米ぬかを用いた水稻栽培は思うような結果になりませんが、やり方を改良することで、将来性を感じたので実家でも引き続き取り組んでいこうと思います。また、実家で栽培している大葉の残渣の堆肥化を検討し、付加価値の高い米づくりをしていきます。

本校卒業後は、農業大学校で身につけた知識や技術を活かして家業を継ぎます。経営者として一人前になれるよう頑張ります。



必要な経験と知識

古賀 三翔 (総合農産科 水田・野菜コース 野菜クラス)



私は、実家が農家ということもあり、幼いころより家の農業を手伝ってきました。そのこともあって、家を継ぐために必要なことを蓄えてきたつもりです。

中学までは家族から栽培技術などを学び、高校では将来農業経営するうえで役に立つ商業系の学科に進み、簿記などの資格取得をしました。そして農業大学校に進学して、機械類の免許の取得と農業の知識を深めることが目標でした。

この農業大学校では、家では経験できない野菜栽培を体験できました。免許・資格もある程度取れたため、目標は達成できたと思っています。学生寮での生活はとても楽しいものでした。また、先輩のプロジェクト発表会に参加するため東京に行った際に、他県の農業大学校生と将来農業経営するための様々な話しを聞いたのはとてもいい経験になりました。

卒業後は一旦就職し、家から離れて外での仕事を体験してから、実家に戻ることにあります。これからも社会経験を通じて農業経営に必要な知識を蓄えていきたいと思っています。

お花に囲まれた農業大学校での学び

藤内 悠翔 (総合農産科 花きコース)

私は小さい頃から花が好きで、高校では農業を学べる日出総合高校に通い、さらに詳しく花について学べる農業大学校に進学しました。

農業大学校では、高校では学べない花の生理生態や、花独自の繊細さをよく学ぶことができたと思います。さらに、大型特殊免許やフラワー装飾技能士の資格を取ることができました。

プロジェクト研究では、大分県の花きグループが開発した少量培地栽培の可能性を広げるため、新しい品目の検討に励みました。少量培地では栽培されていない品目や市場でもとても人気の品目を選び、きちんと育つのか、コンパクトな草姿でできるのか、などを研究しました。そのなかで、1つの品目については少量培地栽培でもしっかりいいものができるという結果が得られて満足しました。

また、1年の時に行われたフラワーアレンジメントコンテストで大分県知事賞をいただいた時はとても嬉しかったです。

本校卒業後は地元の別府にあるJAに勤務します。農産物をより多くの人に届け、知ってもらうためにも、常に気を張り、責任感を持って業務に励みたいと思います。



米づくりを受け継ぐ

おの りゅうと
小野 竜和

(総合農産科 水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス)

私の実家は大分県別府市で祖父の代から続く米農家です。

幼い頃から農業に興味を持ち、将来は実家の後を継ぐと決めました。高校卒業後は、そのまま実家で農業をしようと思っていましたが、高校の先生からの勧めもあり農業大学校への入学を決めました。

農業大学校に入学してからは水稻の水管理など様々なことを学ぶことができ、プロジェクト研究では堆肥を活用した栽培研究を行いました。また、農業機械にとっても興味があり、スマート農業ではGPSトラクターなど色々な機械について勉強することができました。農業大学校で取得できる大型特殊免許や牽引免許だけではなく、水田の仲間と一緒に玉掛けなどの様々な免許取得にも挑戦しました。

卒業後は多くの人に自分が作ったお米を食べてもらえるよう面積を拡大しながら、農業大学校で学んだ知識や技術を活かして経営していきたいです。またこの2年間で水田の先生をはじめ農業大学校の先生の皆様には大変お世話になりました。2年間ありがとうございました。



輝かしい未来に向けて

ひえだ けいた
稗田 桂太

(総合農産科 果樹コース)



私はオープンキャンパスで果樹栽培に関心を持ち、専門的な知識と技術を身につけるため、本校に入学しました。果樹には多くの品目がありますが、先生や先輩の勧めもあって、ナシに関するプロジェクトに取り組むことにしました。

ナシ栽培は専門用語が多く、授粉や枝の誘引、摘果、袋かけ、病虫害防除など必須の作業が続く、初めは戸惑うことばかりでした。しかし先生や先輩が丁寧に指導してくれたおかげで、少しずつ上達することができました。ひとつの作業をおろそかにすると果実品質や収量に影響が出てしまうので、いかに効率よく、段取りよく、作業を進めることができるかが大切だと思います。

在学中には、大型特殊免許の取得や小型車両系建設機械の講習を受けたので、就職後すぐに役に立つスキルを身につけることができました。本校卒業後はキウイフルーツを生産する農業法人に就職することになったので、ここで学んだことを全て生かして、地域社会に貢献できる人間になってみせます。

多くの仲間との出会いと諦めない気持ちを育んだ2年間

ときえだ おうが
時枝 旺雅

(総合畜産科)

私の実家は由布市湯布院町で祖父が肉用牛繁殖35頭規模の経営を行っています。私も祖父のような牛飼いに憧れ、肉用牛の飼育管理を学びたくて本校に入学しました。

在学中には、肉用牛の飼育管理、プロジェクト活動、および大型特殊免許やけん引免許、家畜人工授精師等の各種資格を取得することができました。

なかでも、思い出深いのはプロジェクト活動です。2年にわたり大分県畜産共進会への出品に向けた取り組みを行いました。1年目では共進会出品がかなわず、仲間と課題解決に向けて一つひとつ課題に取り組む、2年目で共進会への出品を果たしました。

私は本校を卒業後、祖父とともに肉用牛繁殖経営を行います。今回のプロジェクト活動で学んだ飼育管理や削蹄、角作り、毛刈りなどの技術を生かし、就農後も畜産共進会に挑戦し、グランドチャンピオンを取れるよう努力します。そして快適な飼育管理技術をすすめ、市場平均価格より高い子牛を生産し、将来は着実に規模拡大を図っていききたいと思います。



Let's enjoy!

学生会員である学生の皆さんと先生方のお力添えにより、令和6年度学生会長の役を終えることができました。協力していただいた皆様に感謝申し上げます。

本年度は、予定されていた行事を全て実行に移すことができました。4月には新入生を迎えての歓迎行事を開催。5月と9月に参加した九州各県農業大学校とのスポーツ交歓会では、上位成績は残せなかったものの、それ以上に有意義な交流ができたと思います。6月にはリーダー研修会を大分県内で開催。私たち学生会役員がホスト役となり、他県の学生たちと互いに意見を交わしながら、様々な考えを共有することができました。

11月の農大祭では、1年を通して最も大きなイベントを成功に導くために、皆で知恵を出しあって準備を進めました。学生だけではなく一般飛び入り参加可能な腕相撲やのど自慢を企画。その結果、キッチンカーの招待や音響関係業者の協力を得て、多くの来場者で盛り上がり、地域の活性化に貢献できたのではないかと自負しています。

本年度は、限られた予算の中で最大限の活動ができ、参加してくれた学生の皆さんに喜んでいただけたのであれば嬉しい限りです。来年度は、新しい学生会役員のリーダーシップのもと、行事の拡充や地域との交流を増やしてもらいたいと期待しています。

最後に、農業大学校ではたくさんの経験を積むこと

学生会長 そのべ そうたろう
園部 蒼太郎

ができます。その中で自主性を発揮することが求められ、人間として大きく成長するきっかけになると思います。その過程において多くの出会いがあり、人と繋がる大切さを学ぶことができるのです。楽しいことも辛いこともあるでしょうが、後につづく在校生や新入生の皆さんは、農業大学校ライフをエンジョイしてください。

私たち卒業生は、大分県の農業を担う人材として、本校の更なる発展を願うとともに、農業の素晴らしさを多くの方々に発信できるよう努めてまいりたいと思います。2年間、本当にありがとうございました。



農業法人との連携会

大分県農業法人協会と大分県では、令和3年度に「農業の担い手育成に関するパートナーシップ協定」を締結し、その一環で令和6年6月に農業大学校の学生を対象に連携会を開催しました。

農業大学校の学生、県内高等学校および振興局の担当者、大分県農業をリードする農業法人の業務や取り組み内容を紹介し理解を深め、農業法人が自ら栽培・飼育する農産物によるバーベキューを開催。農業大学校への進学促進や学生の資質向上、就農促進をはかりました。



先進農家等体験学習

次代の農業、農村を担う優れた人材の育成をはかるため、実際の農業とは、また地域農業とはどういうものかを肌で感じる事が重要です。農業大学校の1年生を対象に、令和6年10月のうち3週間、県内の先進農家(農業法人)で農業経営に実際に携わる貴重な体験を学習しました。この経験は、県内プロジェクト研究等学習活動や社会人になるための成長の糧となりました。



令和6年度 農大生の活躍

「第16回 めじろんカップ」 大分県知事賞(総合第1位)獲得

日本フラワーデザイナー協会主催「第16回 めじろんカップ(フラワーアレンジメントコンテスト)」が開催され、本校から総合農産科花きコースの4名が出展しました。



今年のテーマ「ともだち」をイメージして、使用する生花から構成までを考え、制作に取り組みました。

「友情と絆と信頼」をサブテーマに掲げて、スプレーバラや流木等を使って表現した花きコース1年の渡邊晟さんが、全体の1位となる大分県知事賞を受賞しました。

大分県畜産共進会への 出品

学生のプロジェクト活動の一環として、大分県畜産共進会に向けた飼養管理技術の習得・向上に取り組み、令和6年度大分県畜産共進会に5年ぶりに出品し、優秀賞1席を受賞しました。



～様々な企業・学校との連携～

○株式会社くだものかふえ

経営者感覚育成講座の講師としてお招きした(株)くだものかふえの小野寺聡社長による講演を契機に、果樹コース学生との交流が始まりました。本校果樹園で生産する果実のうち、販売用には不向きな規格外品の取り扱いが課題でしたが、生しぼりジュース加工用として取り引きできる話しがまとまりました。使用果実、商品名、価格設定、宣伝広報を学生主体で何度も会社と打ち合わせた末に、10月から11月にかけて「大分果研4号」「豊里梨」「黄熟カボス」ジュースの店頭販売を実現することができ、学生の大きな自信につながりました。



○株式会社大分からあげ

昨年度より(株)大分からあげが取り組んでいる米油プロジェクトの一環として、農業大学校内の水田を使って、水稻栽培を行っています。米油を絞った後の脱脂米ぬかが主体の肥料を使用し、学生のプロジェクト研究として栽培試験を行うとともに、今年度は東京の方や社員のご家族も交えて田植え、収穫体験を実施しました。日々の水稻の生育状況を情報交換しながら、その成長を夏休みの自由研究にまとめた子どもたちもいました。今後は、地元の生産者との連携の輪を拡げ、地域循環型農業に取り組んでいきます。



○大塚製薬株式会社×株式会社トキハイングストリー

大分農大名物の黒大豆「クロダマル」の収穫体験を、食育活動の一環で大塚製薬(株)、(株)トキハイングストリーと協力して行いました。消費者との繋がりをこれからも深めていきます。



2年間の集大成 ～プロジェクト・意見発表会～

令和6年12月13日にエイトピアおのおで、プロジェクト・意見発表会を開催しました。プロジェクトの部では2年間の集大成として各学科・コースから選抜された2年生9名により7課題、意見発表の部では農業に対する想いやこれからの進路について1年生6名により6課題が発表されました。

厳正なる審査の結果、プロジェクトの部では総合農産科の工藤優斗さんと田邊祥多さん、総合畜産科の笠木啓太郎さんと時枝旺雅さんが、意見発表の部では総合畜産科の松尾百香さんが本校代表に選出され、令和7年1月15～16日に長崎市で開催された九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会で発表しました。



5年ぶりの海外農業体験研修 ～フォルモサ・麗しの島「台湾」～

先駆的な海外農業について学び、国際感覚を涵養し先進技術や世界情勢などに関する見聞を広めるため、令和6年5月28日～6月1日にかけて、台湾への海外農業体験研修に2年生23名が参加しました。

現地では大規模マンゴー農園、野菜工場に加えて青果物市場、農産物加工体験、歴史的な文化遺産の見学など、様々な文化とふれあい、視野を広げることができました。学生から「初めての海外で不安でしたが、貴重な体験ができました」、「海外には就職してからでもまた行ってみたいです」などと、一回り成長を感じるコメントをもらうことができました。



スマート農業 ～サステイナブルな未来へ！「北海道大学・大分高専と共催」～

スマート農業は、今後の大分県農業の未来を切り拓く人材の育成において非常に大切で、本年度もGPS田植え機、GPSトラクター、GPS防除機、ドローンなどの操作実習を実施しました。

また、令和7年

1月15日には北海道大学スマート農業教育拠点と大分工業高等専門学校との共催で、「スマート農業研修会in大分県」を開催し、スマート農業への理解促進に努めました。

今後もこれらの取り組みを継続し、時代のニーズに対応した人材育成を図ってまいります。



活躍する卒業生・期待される農大生

夢を叶える

ひらかわ まみこ
令和3年度卒業生 平川 真実子

私は本校の果樹コースでブドウ栽培を中心に果樹農業を学び、将来は必ず農業で独立して起業しようと心に決めてい



ました。3年前に卒業してからは、いったん福岡県うきは市の果樹農家に就職。2年間経験を積んでから就農するための準備を始めました。

働きながら栽培技術を磨くと同時に、自分の園地を探し始め、日田市役所担当者のご支援により好条件の園地を見つけることができました。また、尊敬できる先輩方と出会い、このようなありがたい環境のお陰で、令和6年4月に日田市でブドウ経営を開始することになりました。

実際に始めてみると、農業大学校や就職先で学んだ環境とは違うので、なかなか思いどおりにはいきません。ブドウは手間のかかる作物なので、技術面や適応能力を高めないといけないことを1年目に痛感しました。

ブドウの休眠期である今は、剪定技術とともに経理の勉強を始めて毎日が忙しいのですが、とても充実している気がします。皆さんも自らの目標に向かって努力を惜しまなければ、必ず夢は叶うと思いますよ。

農家と共に歩む

さだ のぞむ
平成23年度卒業生 佐田 望

両親がサラリーマンで非農家の私が、縁あって農業大学校に入ることとなり、在学中は、将来農業を営むという思いがありました。しかし、農業をするにも土地も機械もない。そんな状態で就農は難しいと考え、まずは就職という道を選びました。



平成24年3月に本校総合農産科果樹コースを卒業。大分県農業協同組合に就職し、現在入組13年目です。営農指導員として、豊後大野管内の生産部会組織への対応を行っております。

今の部署では作物生産だけではなく生産者である組合員への対応となるため、大変な面も多々あります。しかし自分自身の創意工夫で様々なことにチャレンジでき、何より結果が出た際、直接組合員の生活を豊かにできる点に日々やりがいを感じています。「農家になる」という気持ちは、いつしか「農家と共に歩む」という気持ちに変わりました。

私は今、大分県営農指導員連盟の会長に就いています。営農指導員の資質向上は、県内農家組合員の所得向上に繋がると考えています。JA職員として、「農家組合員」の目線に立ち、共に地域を活性化していく。そのような道をこれからも歩んでまいります。

農産物直売所 「みどりの風」

今年度も学生がプロジェクト学習や実習の中で生産した新鮮な農産物を販売する「みどりの風」を6月～翌年1月(10月と11月は休み)まで開設しました。

また、大分市、別府市、豊後大野市など各種イベントでの出張販売実習も行い、広く本校の取り組みをアピールしました。

これらは、自分たちが生産した農産物を直接消費者に販売することができる大切な機会です。消費者の声を聴き、品質やパッケージなどの消費者ニーズを把握することで、マーケティング能力やコミュニケーション能力の向上が図られます。



出張販売 in 豊後大野市役所 OAB マルシェ農大夏野菜セット

失敗と書いて成長と読む

校長 藤田 義明

令和6年度、大分県立農業大学校を卒業される皆さん、心からお祝い申し上げます。

皆さんはそれぞれの道に進みますが、これからの社会は少子高齢化、人口減少が加速し、農業に限らずあらゆる産業で担い手不足が深刻化するでしょう。

そして、これまでのやり方では解決しない様々な課題に直面することと思います。その時、本校の「進取研鑽」「実践創造」「友愛協調」の校訓のもと、実践的な学びを通じて得られた気づきは、必ず皆さんの課題解決に役立つことと確信しています。

「失敗と書いて成長と読む」。失敗はチャレンジした証であり、その失敗を糧に次のチャレンジに活かすことで成長へとつながっていきます。あきらめることなく、自分のありたい姿を目指し、挑戦し続けてください。

母校である大分県立農業大学校は、皆さんのことをこれからも応援しています。



私たち 郷土に生きる

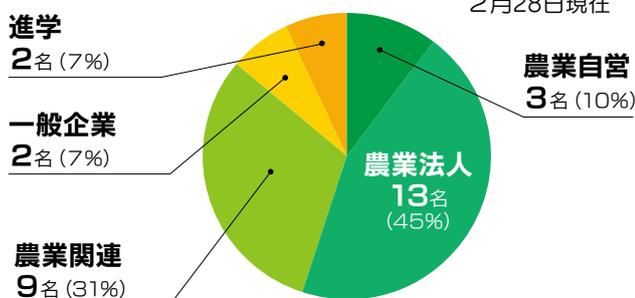
自らの選択

農学部第33期卒業生の進路状況は下のグラフのとおりです。卒業後、即自営を行う者、農業法人や農業関係団体に就職する者の割合が約86%となっています。

また、各種資格取得や免許に関する学習を全学生対象に実施していますが、多くの学生が資格や免許を取得しています。取得状況は右表のとおりです。

令和6年度 卒業生29名の進路状況

2月28日現在



卒業生の進む道

(令和7年2月28日現在)

卒業生の資格・免許取得状況(1・2年次通算)	取得者数
大型特殊免許(農耕車限定)	30
けん引免許(農耕車限定)	22
小型車両系建設機械運転特別教育	5
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	12
フォークリフト運転技能講習	16
ボイラー取扱技能講習	8
ガス溶接技能講習	17
アーク溶接作業特別教育	17
日本農業技術検定2級	2
日本農業技術検定3級	0
家畜商講習修了証	3
家畜人工授精師免許	8
フラワー装飾技能検定3級	2
農薬指導士認定	2

※入学時の資格取得済者を除く

卒業後の進路 (直近3年間、順不同)

農業法人等 自営就農・農事組合法人中園営農組合・(有)福田農園・(株)創・JR九州ファーム(株)・(株)らいむ工房・名水美人ファクトリー(株)・中津もぎたてファクトリー(株)・大分佐伯ファーム(株)・(有)釘宮牧場・(株)スギモトファーム・農事組合法人カヤノ農産・(株)おおやま夢工房・(株)リアライズ・(株)エーワン・(株)アグリハート・(有)石和田産業・(有)豊後大分有機茶生産組合・FROGSFARM (株)・(株)未来農林・(株)鈴木養鶏場・(株)ドリームファーマーズJAPAN・(株)大分サンヨーフーズ・(株)黒木ファーム・農事組合法人水江ライスセンター・(株)まるみつファーム・草屋本舗(株)・(株)ENOWAファーム・(株)想季

農業団体等 大分県農業協同組合・べっぴん日出農業協同組合・(株)大分県畜産公社・(公社)農業公社やまくに・(公社)杵築市地域活性化センター

農業関連企業 (株)中九州クボタ・ヤンマーアグリジャパン(株)・(株)中セキ九州・大三ミート産業(株)・丸果大分大同青果(株)・(株)グリーンコープミルク

進学 東海大学・愛媛大学・大分高等技術専門学校・タキイ研究農場専門学校・豊後高田市アグリチャレンジスクール・植原葡萄研究所

公務員 大分県農業技術員

一般企業等 (株)野田麗華園・(株)ヤマナミ麵芸社・(株)コスモス薬品・(株)トキハイナダストリー・ワタナベグループ(株)



就職相談会 (会社概要説明)

編集後記

「農大NOW」は平成6年3月に第1号が発行され、今回の令和6年度版は第32号となります。「NOW」の意味は、N:のびる、O:おもしろい、W:わかりやすい農業教育を実践する本校の今(NOW)を継承していく意味が込められています。

令和6年度は、新型コロナウイルスの影響から脱却して、新たな活動の起点となる年でした。しばらく休止していた海外農業体験研修が復活し、台湾で先進農業を学びました。本稿を通じて学生の成長を実感していただければ幸いです。卒業生の皆さんが様々な分野で活躍されることを期待しています。